

## 2 社会教育の充実

### 1 学習活動の充実

#### 〈目標〉

市民の学習活動の充実を図るため、社会教育関係団体等の日常的活動やイベントなどを支援し、自主的活動を促進するとともに、指導者の育成を行い、指導体制の確立を図る。また、関係機関・団体と連携し、諸事業の効果的推進に努める。さらに、あらゆる年齢層に応じた各種講座などの充実を図る。

#### 〈取り組みの方向〉

市民の多種多様な社会教育の需要に対応した学習内容の充実を進める。

#### 〈平成19年度の主な取り組み〉

##### (1)自主的活動の促進

- ・各社会教育関係団体や市民グループなどが、自主的な社会教育活動ができるよう支援を行う。

##### (2)指導体制の充実

- ・社会教育主事などの育成及び資質の向上を図る。
- ・市民の学習活動にかかわる指導者の養成・発掘に努める。

##### (3)関係機関・団体との連携

- ・北河内市民の広域利用の推進及び図書館間の連携を進める。
- ・市民との協働により社会教育施策を推進する仕組みづくりに努める。

##### (4)学習機会の拡充

- ・幼児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした各種学級、講座などの充実を図り、生涯学習社会の実現と市民の学習ニーズを反映した学習機会の提供に努める。

〈平成 19 年度の取組実績〉

(1)自主的活動の促進

- ①「市民文化祭」「公民館まつり」「フェットエスポアール」等のイベントにおいて、日頃の活動成果を発表する機会や交流の場を提供することにより、市民の自主的な活動を支援した。

【イベント参加状況】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
市 民 文 化 祭	11,592 人	11,682 人	10,697 人
公 民 館 ま つ り	7,420 人	6,350 人	6,100 人
フェットエスポアール	9,823 人	9,700 人	8,600 人
元 気 夢 ま つ り	34,000 人	33,000 人	(雨天中止)

(2)指導体制の充実

- ①市民の社会教育活動を支援するため、学習相談や指導・助言ができるよう、社会教育部内の職員が大阪府や国の行う指導者養成講座や各種研修会等に積極的に参加し、資質向上を図った。
- ②青少年の指導者やスポーツ指導者を養成するため、ジュニアリーダーセミナー<sup>⑭</sup>・ヤングリーダーセミナー<sup>⑮</sup>・子ども会指導者セミナー・スポーツインストラクター養成講座を実施し、指導者の育成に努めた。

【指導者養成講座等参加状況】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
ジュニアリーダーセミナー	808 人	924 人	839 人
ヤングリーダーセミナー	137 人	87 人	149 人
子ども会指導者セミナー	548 人	614 人	554 人
スポーツインストラクター養成講習会	36 人	32 人	33 人

(3)関係機関・団体との連携

①子どもの健やかな成長のため、学校・家庭・地域社会が連携した地域教育協議会事業や放課後子ども教室推進事業等の社会教育施策を実施した。

【関係機関・団体との連携事業参加状況】（延べ参加者数）

		H19 年度	H18 年	H17 年
地域教育協議会（12 中学校区）		30,351 人	37,532 人	42,789 人
放課後子ども 教室	子ども	66,118 人	63,786 人	54,717 人
	大人	15,217 人	15,226 人	13,693 人

②北河内 7 市が連携して進めている図書館の広域利用は、各市の図書館利用者にも制度が定着しつつあり、年々各市の利用者及び貸出し冊数も増加している。

【平成 19 年度広域利用貸出延べ人数及び貸出冊数】

	市 民		他 市 の 人	
	他市の図書館 を利用した人数	他市の図書館 から借りた冊数	本市の図書館 を利用した人数	本市の図書館 から借りた冊数
守口市	1,373 人	2,151 冊	715 人	4,585 冊
枚方市	5,520 人	25,148 冊	1,317 人	7,584 冊
大東市	435 人	937 冊	155 人	1,246 冊
門真市	1,366 人	5,234 冊	943 人	7,459 冊
四條畷市	2,021 人	10,209 冊	943 人	2,823 冊
交野市	89 人	464 冊	728 人	6,257 冊
その他	—	—	7 人	22 冊
合計	10,804 人	44,143 冊	4,808 人	29,976 冊

#### (4)学習機会の拡充

①公民館、エスポアール、教育センターの社会教育施設において、あらゆる年齢層の市民が参加できる講座・教室や行事を実施するとともに、その参加者に対し、アンケート等を取ることで、利用者ニーズの把握と反映に努めた。

【社会教育施設の利用者数及び登録者数】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
中央公民館	175,612 人	175,340 人	173,672 人
エスポアール	159,746 人	164,366 人	161,090 人
教育センター	36,011 人	37,665 人	32,201 人
中央図書館	83,428 人	77,591 人	71,313 人

②市民に学習情報を提供するため、公共施設等で実施する講座・教室やイベント等を掲載した「ねやがわ生涯学習あんない」を発行するとともに、市のホームページでも公開し、学習機会の充実を図った。

#### 〈評価〉

- ・社会参加や自己実現を図るため、社会教育施設等で活動する市民や団体が年々増加しており、団体登録制の廃止や団体と協働した取り組みの充実を図り、学習活動の支援を行うことができた。
- ・スポーツインストラクター養成講座の受講者が、講習終了後スポーツリーダーとして、地域や学校等からの派遣要請に応じることができた。
- ・放課後等の子どもたちの安全で安心な居場所づくりのために実施している「放課後子ども教室」は関係機関や団体と連携し、事業の充実に努めたことにより参加者の増加を図ることができた。

- ・北河内7市の図書館で連携して進めている広域利用制度を市民に周知することにより、利用者・貸出冊数とも増加した。
- ・市民の学習意欲はますます多様化・高度化しており、あらゆる年齢層の学習機会や活動を支援するとともに、学習環境の整備・充実を図っていく。

## 2 公民館の充実

### 〈目標〉

生涯学習に関する各種事業の提供を行うとともに、市民の教養の向上、健康増進等自主的な活動・学習支援を提供する基幹施設として、施設機能の充実を図る。

### 〈取り組みの方向〉

市民ニーズに即した生涯学習の機会と交流の場を提供し、生涯学習の推進を図る。

### 〈平成 19 年度の主な取り組み〉

#### (1) 公民館の充実

- ・ 公民館における講座・教室など、あらゆる年齢層への学習機会の充実を推進する。
- ・ 公民館施設の計画的な改善による施設機能の充実を図る。

### 〈平成 19 年度の取組実績〉

#### (1) 公民館の充実

- ① 中央公民館における講座・教室の内容を充実させるとともに、平成 18 年度から登録していない団体についても施設利用できるよう改める中で、平成 19 年度においても利用者が漸増した。

#### 【中央公民館延べ利用者数】

H19 年度	H18 年度	H17 年度
175,612 人	175,340 人	173,672 人

※主催講座、公民館まつり等を含む全ての利用者数

【中央公民館の利用団体数】

項 目	H19 年度	H18 年度	H17 年度
登録団体数	137団体	145 団体	155団体
登録していない団体数	60団体	22 団体	-
計	197団体	167 団体	155団体

※登録団体数は、中央公民館の主催講座から発足した団体（育成サークル）とその他の中央公民館を継続的に使用している登録団体の合計数。

※H17 年度までは中央公民館に登録している団体のみ利用を認めていたが、H18 年度からは登録していない団体についても利用を認めている。

【中央公民館主催講座参加者数】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
延べ参加者数	8,154人	7,457人	8,038人
講 座 数	37講座	32講座	30講座

※主催講座の内、市民大学、ファミリー映画会を除く。

【市民大学等の参加者数】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
市民大学	1,604 人	2,160 人	1,068 人
ファミリー映画会	1,744 人	1,100 人	1,640 人
公民館まつり	7,420 人	6,350 人	6,100 人

②中央公民館の施設改善

利用者が快適に利用できるよう、「講堂」の音響設備・照明設備の一部交換修理、「和室」の畳表替え等を行った。

③中央公民館の有料化

それまで無料であった中央公民館の施設利用について、利用する人とならない人の負担の公平性の観点から、受益者負担の適正化を図るために施設使用を有料とする条例改正を行った。（H20 年 7 月 1 日以降の申込みから適用）

〈評価〉

- ・登録していない団体についても、中央公民館を利用できることをホームページ等を通じて周知する中で、自主的なサークル活動等を目的に利用する団体が増加し、利用者数の拡大を図ることができた。
- ・中央公民館の主催講座に様々な年齢層の市民が参加できるよう、一部の講座については市民公募により内容を決定するとともに、講座の種類も増やすなど、講座の内容の充実に努めた結果、受講者数の増加を図ることができた。
- ・高齢化社会を迎える中、市民の生涯学習に対する意欲・関心は年々高まっている。このような中、社会教育の基幹施設の一つである中央公民館として、市民ニーズを踏まえ、引き続き学習機会の充実に努めていく。



### 3 図書館の充実

#### 〈目標〉

市民の身近な生涯学習の中核施設として、乳幼児から高齢者まで、住民すべての自己教育に役立つ資料や情報を提供する。

また、芸術や文学を鑑賞し、地域文化の創造にかかわる場として、図書館の充実を図る。

#### 〈取り組みの方向〉

図書館を活用し、地域の人々が知的に素敵に暮らせるように、あらゆる支援と、資料や情報の提供に努める。

また、「寝屋川市子ども読書活動推進計画」を押し進めるため、学校図書館との連携をより進めていく。

#### 〈平成19年度の主な取り組み〉

##### (1)図書館の充実

- ・多種多様化する市民の資料ニーズに応えるため、幅広い資料・情報の収集、保存機能の充実を図り、資料や情報の提供に努める。
- ・すべての市民に対し生涯学習を保障するため、障害者・高齢者・在住外国人へのサービスを積極的に展開する。
- ・『寝屋川市子ども読書活動推進計画』にもとづき、子どもの読書環境の整備を推進するため、学校・幼稚園・保育所との連携を図り、団体貸出の拡大を図る。

#### 〈平成19年度の取組実績〉

##### (1)図書館の充実

- ①図書館に対する市民ニーズの多種多様化に応えるため、毎年多面的かつ、フレッシュな図書の収集に努めている。

【蔵書冊数】

	蔵書累計	受 入 数		
		購入数	寄贈数	合計
H19 年度	399,861 冊	31,085 冊	1,549 冊	32,634 冊
H18 年度	385,413 冊	29,918 冊	1,221 冊	31,139 冊
H17 年度	371,262 冊	28,272 冊	3,079 冊	31,351 冊

※点字図書・AVを含む

②社会や生活に関する課題・トレンドを察知し、求められる本を揃えた。

【貸出冊数】

	総計	中央図書館	東図書館	分 室	移動図書館
H19 年度	1,077,052 冊	723,477 冊	206,480 冊	117,475 冊	29,620 冊
H18 年度	1,069,946 冊	724,236 冊	204,760 冊	110,193 冊	30,757 冊
H17 年度	1,036,831 冊	707,317 冊	206,957 冊	87,023 冊	35,534 冊

※分室は西北・南・東北・西南の合計冊数

③市民ニーズに合った資料（本）を収集、インターネット予約の実施等により、年々予約受付冊数が増えている。

IT ネットワーク事業では、図書館ホームページ開設（H11 年度）以来、館内に市民用パソコン（インターネット接続）設置、ホームページからの予約受付、予約可能な館内蔵書検索機の設置等、順次推進した。

【予約受付冊数】

	総計	中央図書館	東図書館	分 室	移動図書館
H19 年度	126,559 冊	65,539 冊	37,070 冊	23,371 冊	579 冊
H18 年度	112,996 冊	58,044 冊	35,096 冊	19,715 冊	141 冊
H17 年度	87,983 冊	46,977 冊	29,364 冊	11,298 冊	344 冊

※分室は西北・南・東北・西南の合計冊数

- ④視覚障害者を主な対象とした録音雑誌「ダ・カーポ」の利用が増えたことにより、テープ図書の貸出数が増加した。また、在住外国人向け資料として韓国・朝鮮語（58点）、中国語（44点）、英語（159点）の原書の提供を平成19年度から開始した。

## 【点字・録音図書貸出数】

	点字図書		テープ図書		デージー図書 <sup>⑩</sup>	
	タイトル	巻数	タイトル	巻数	タイトル	巻数
H19年度	14	23	751	5,184	14	14
H18年度	3	3	704	4,705	54	54
H17年度	10	27	719	4,654	0	0

- ⑤「寝屋川市子ども読書活動推進計画」（H18年3月制定）に基づいて、子どもの読書環境を一層整備するため、学校・幼稚園等への団体貸出用図書を購入し、平成18年度より団体貸出を開始した。このことにより平成18年度以降、団体貸出冊数が年々増加している。

## 【団体貸出の貸出冊数】

	貸出冊数	家庭文庫 の団体数	地域文庫 の団体数	その他 の団体数
H19年度	25,639冊	2団体	6団体	50団体
H18年度	11,247冊	2団体	7団体	52団体
H17年度	4,909冊	2団体	7団体	55団体

※その他の団体数には、下表の学校園・保育所団体数も含む。

## 【学校園・保育所団体登録数】

	中学校	小学校	幼稚園・保育所
H19年度	2校	18校	10園所
H18年度	1校	3校	3園所

⑥東図書館については、平成19年度もNPO法人 図書館活用をすすめる会に窓口業務を委託し、サービスを低下させることなく経費の削減を図った。また、平成20年度には東図書館を拡張し、「子ども図書室」を設置する。

〈評価〉

・図書館は、市民に最も身近な生涯学習の中核施設として、市民の多様な学習ニーズに幅広く応えてきた。平成19年度の事業実績としては、予約受付冊数において、人口30万未満の全国43市区中13位となった。また、子どもの読書環境整備では小学校の団体貸出登録率が伸び、成果を上げた。そして分室の貸出日の増加により貸出冊数を伸ばすことができた。

一方で、中学校の団体貸出登録率の伸びが小学校に比べて低く、また移動図書館（おきがる号）による貸出冊数はわずかだが減少が見られた。これらについては、実態を分析した上で、今後も図書館業務の効率化を進め、図書館機能の充実を図っていく。